

特別賞



豊中市長賞

「赤殻若」 関東 秀康（大阪府）
骨格は良くできています。各部分うまく作られています。ただ、赤殻若なら全体をもう少し赤くした方が良いでしょう。顔も赤みを帯びても良いと思います。表情の強さもあります。



豊中市教育委員会賞

「泣増」 西村 武（福岡県）
良くできていますが、顔が現代的すぎます。若女的に見える。美しくすぎて舞台上に出ると表情が小さく狭くなる恐れがある。口鼻などがより眼の表情も良い。頬の赤が気になります。頬の配置が全体的に少し下がりがみ。

審査員特別賞



「童子」 相良 悟（福岡県）
童子らしい良い目をして、表情は出ていますし、スケールが合って強い。反面、演者をうごかし、使いづらい面です。思いを含んだシテ、大江山などには使えるでしょう。頬から口角にかけて少ししぼりはありません。



「鼓馬尉」 井上 忠夫（東京都）
鼓馬の専用面です。表情も彩色も良くできています。骨格の表現をすこし工夫してください。力強さにはありますが、裏の彫をもう少し検討してください。良いと思います。



「節木増」 荒牧 玲子（福岡県）
骨格は良く眼の表情も良いのですが、口元が美しくありません。眼線から小鼻にかけての工夫はほしい。やや悪い感じがあります。

優秀賞



「孫次郎」 貞光 康子（福岡県）
良いのですが、源次物語の輪に出てくるような表情です。顔面としての作りがあまりありません。色はきれいすぎて、顔よけてくるものが少ない。面の特徴をつかんだ彩色を工夫してください。



「鼓馬尉」 松原 洋一（広島県）
良くできています。頬の彫などは上手です。ただ、残念なのは口です。神の面です。口周りの表情が生々しく感じます。もう一度じっくり見なおしてください。



「小面」 大南 真（兵庫県）
彩色は小面の色ではないですね。もう少し工夫してください。全体的な骨格としては良いのですが表情が突っ張った感じがします。口角から頬にかけての彫り、表情の形をもう少し演出は表情も良くなるのでは？



「覆男」 大南 真（兵庫県）
目と口は割れるものが足りていない良い面です。志の顔も良いのですが、その顔から顔の彫りがはみ出すぎている感じがします。もっといいですね。彩色にももう少し検討をしてみてください。



「深井」 佐村 太（福岡県）
良い出来です。顔が生きています。オデコも良い。ただ、口が閉き過ぎではないでしょうか？これほど開くと演者の口も見えてしまいます。



「長堂徳見」 藤本 重廣（大阪府）
滑稽な眼が眼端の彫り込みで良いです。口のベシシの彫り込みが少し除い、毛細きをもう少し工夫して、彩色と彫りはっきり区別がつかないようにしたい。全体はうまく整っています。



「大愚尉」 田中 孝洋（京都府）
彫りが強くて良いのですが、表情に強みは感じられません。大愚尉は強みはありません。良いですね。裏の彫を工夫してください。面を巻けることができます。もっといいです。



「天神」 設楽 清（東京都）
フランスは良いのですが、頬はもう少し下向いている方が良いでしょう。天神は表情が取りやすい面なのですが、密着や顎のしぼりなどが弱く、もう少し力強さに付けます。



「大愚尉」 藤田 修三（兵庫県）
良い表情はいい、力は強いです。神の顔からの表情は良いのですが、正面からの表情に弱く感じます。オデコや頬の彫りも少ない。彩色に思いを込めるのが通じている感じですが、骨格でそれだけ強くなります。少し悪いです。



「賢徳」 田中 徳平（福岡県）
良い面です。使えるでしょう。もう少し目の穴が大きいと表情が変化すると感じます。狂言面も顔面と同じように表情を変化させる必要があるのです。顔面と狂言面の違いなども検討してください。